

令和 3 年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価に関する報告書
(令和 2 年度事業対象)

令和 3 年 8 月

飯山市教育委員会

目 次

I	点検・評価制度の概要	1
1	自己点検・評価の考え方	
2	点検評価の対象事業	
3	点検評価の方法	
II	点検評価の結果	2
1	教育委員会及び教育委員の活動	2~5
	（1）教育委員会議の令和2年度開催実績	
	（2）その他の会議・活動	
2	教育委員会事務局の事務事業評価の結果	6~29

I 点検・評価制度の概要

1 自己点検・評価の考え方

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

教育行政の推進にあたり、その政策効果を把握し、必要性、効率性等の観点から自ら点検・評価を行い、その結果を公表することは、政策立案を的確に行うとともに住民に対する説明責任を果たす上で重要なことです。

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和2年度の教育委員会事務事業について自己点検・評価を実施した結果をまとめたものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検評価の対象事業

点検・評価の対象は、原則として、教育委員会会議及び委員の活動、事務局が重点事業として取り組んだ主な事務事業としています。重点事業の目安として、飯山市総合計画の3か年実施計画に掲載（ハード500万円以上、ソフト100万円以上の2次経費＋新規事業）及び、その他必要と認めるものとし、飯山市総合計画の重点施策項目により配列しました。

3 点検評価の方法

教育委員会会議及び委員の活動については年間の活動状況を報告し、事務事業については対象事業ごとに、取り組み内容及び結果、決算額、評価、今後

の取り組み・課題等を掲載したものを報告します。

なお、評価にあたっては、飯山市総合計画、飯山市総合戦略、飯山市教育大綱に掲げる目標数値やコストとのバランスなどを勘案し、次の4区分の評価とします。

「順調」…優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている

「概ね順調」…優れた取り組みがいくつかあり、成果は上がっている

「要検討」…一定の成果は上がっているが課題もあり、改善の必要がある

「要改善」…成果は十分上がっておらず、改善の余地が多く抜本的な見直しが必要

II 点検評価の結果

1 教育委員会及び教育委員の活動

(1) 教育委員会及び教育委員の令和2年度開催実績

教育委員会及び教育委員は、毎月1回定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会を開催しており、令和2年度においては、次のとおり会議を開催し、審議を行いました。また、議決事項以外に新型コロナウイルス感染症対策についてなど、緊急性の高い行政課題全般について協議・報告を行いました。

○会議回数 14 回、審議案件 28 件

開催日	議 決 事 項
4 月 24 日	・ 飯山市図書館協議会委員の委嘱について ・ 飯山市美術館運営協議会委員の委嘱について ・ 飯山市ふるさと館運営協議会委員の委嘱について
5 月 26 日	・ 令和2年度飯山市一般会計6月補正予算案(教育委員会関係)について ・ 専決処分(区域外就学)の承認を求めることについて
6 月 22 日	・ 令和2年度飯山市一般会計6月補正予算案(教育委員会関係)について ・ 飯山市立小学校の学校医の嘱託について
7 月 29 日	・ 「飯山の新たな学校づくり計画」(案)について
8 月 6 日 臨時会	・ 令和2年度中学校教科用図書採択について
8 月 27 日	・ 飯山市公民館 富倉公民館長の任命について

	・令和2年度飯山市一般会計7月専決、8月及び9月補正予算（教育委員会関係）について
9月30日	・専決処分の承認を求めることについて
10月23日	・文化財保護審議会委員の委嘱について
11月20日	・令和2年度飯山市一般会計12月補正予算案（教育委員会関係）について
12月25日	・飯山市公民館地区公民館長の任命について ・飯山市公民館専門部員の委嘱について
1月25日	・「飯山の新たな学校づくり計画案」の確定について
2月24日	・令和3年度飯山市一般会計予算案（教育委員会関係）について ・令和2年度飯山市一般会計1月専決予算及び3月補正予算案（教育委員会関係）について ・飯山市文化財保護審議会委員の委嘱について ・飯山市立小中学校の学校歯科医の解嘱及び嘱託について ・専決処分の承認を求めることについて
3月2日 臨時会	・令和3年度飯山市立小中学校長の内申について ・飯山市教育委員会の辞職の同意について
3月23日	・飯山市公民館地区公民館長の任命について ・飯山市公民館専門部員の委嘱について ・飯山市スポーツ推進委員の委嘱について ・通学区域外就学の許可について

（2）その他の会議・活動

・総合教育会議

市長の招集により教育長・教育委員が出席し、飯山市の教育行政全般について、報告、情報共有および協議を実施した。

- 7月2日： ・教育大綱の進捗状況について
 ・飯山の新たな学校づくり計画(案)について
 ・第2次教育大綱の策定について
 ・新型コロナウイルス感染対策（教育委員会関係）について
- 1月13日： ・飯山の新たな学校づくり計画(案)について
 ・第2次教育大綱（案）について

- 3月19日：
- ・第2次教育大綱（案）について
 - ・新たな学校づくり計画の今後の推進について
 - ・岳北地域高校の魅力づくり研究協議会要望について

・飯山市学校の新たな学校づくり計画について

飯山市学校・保育園適正規模等検討委員から令和2年1月17日付で提出のあった「飯山市保育園・学校課題検討委員会の答申に基づいた具体的な学校及び保育園の適正規模や配置等について」の答申内容に基づき、飯山市教育委員会で検討、地域説明会を実施し「飯山の新たな学校づくり計画」を令和3年1月に策定。

定例教育委員会：5月26日、6月22日、7月29日、8月6日、8月27日、10月23日 計6回

地域説明会：11月18日、20日、24日、25日、26日、12月1日、2日 計7回 参加人数248名

パブリックコメント：11月6日～12月7日 意見は5名

・第2次教育大綱について

新たな学校づくりのための各種施策や持続可能な社会づくりをはじめ、学校教育及び社会教育の施策推進にあたり、目指すべき姿を「自己教育力を持ち、自分の夢の実現と持続可能な新たな時代を創る子ども」の育成とする「飯山市第2次教育大綱」を令和3年3月に策定。

定例教育委員会：11月20日、12月25日、1月25日、2月24日 計4回

パブリックコメント：2月15日～3月16日 意見なし

- ・校長・教頭・新任教諭辞令交付式（4月）
- ・保育園・小中学校入園・入学式（4月）
- ・中学校文化祭（9月）
- ・保育園・小中学校卒園・卒業式（3月）
- ・教育委員再任：小林輝紀教育委員（10月9日～）
- ・県主幹指導主事学校訪問（6月・7月・9月）
- ・飯水地方教育委員会連絡協議会総会（書面決議5月26日：飯山市役所）

飯水地方教育委員会連絡協議会研修視察（10月30日：NPO法人ぱーむぼいす）

- ・市PTA連合会との懇談会（9月28日）
- ・長野県女性教育委員連絡協議会総会、研修会 中止（6月：富士見町、9月：辰野町）
- ・長野県市町村教育委員会連絡協議会総会・研修会 中止（紙面決議 10月23日：飯田市）
- ・その他各種会議、大会、式典等への出席多数

2 教育委員会事務局の事務事業評価の結果一覧

No	重点施策名	事業名	評価	担当課
1	学力・体力向上事業の充実	学力向上総合対策事業	概ね順調	子ども育成課
2		中学校国際交流事業	概ね順調	子ども育成課
3		英語教育推進事業	順 調	子ども育成課
4		教師用教科書指導書購入事業	概ね順調	子ども育成課
5	教育環境と教育施設の充実及び検討	小学校施設整備事業	概ね順調	子ども育成課
6		心の教室相談員設置事業	概ね順調	子ども育成課
7		特別支援教育支援員配置事業	概ね順調	子ども育成課
8		小中学校図書館図書整備事業	順 調	子ども育成課
9		平和学習事業	概ね順調	子ども育成課
10		不登校児童生徒支援事業	概ね順調	子ども育成課
11		小学校施設リニューアル整備事業	順 調	子ども育成課
12		新 中学校施設整備事業	概ね順調	子ども育成課
13		小中学校 I C T 教育推進事業	概ね順調	子ども育成課
14		学校教育事務局費	概ね順調	子ども育成課
15		新 小中学校感染症対策・学習保障支援事業	順 調	子ども育成課
16	地域で支える教育環境の推進	冬期学校スポーツ振興事業	順 調	子ども育成課
17		総合教育推進事業	順 調	子ども育成課
18		中学校部活動支援事業	概ね順調	子ども育成課
19		育英資金貸付事業	概ね順調	子ども育成課
20	生涯学習環境の充実・生涯学習意識の高揚	飯山雪国大学事業	概ね順調	市民学習支援課
21		地区館事業	概ね順調	市民学習支援課
22	知の循環型社会の構築推進・図書館の充実	読書普及事業	概ね順調	市民学習支援課
23	伝統文化の尊重・継承	文化財調査整備事業	概ね順調	市民学習支援課
24		文化的景観保護推進事業	順 調	市民学習支援課
25	地域文化の学習推進、情報発信	ふるさと学習推進事業	概ね順調	市民学習支援課
26		丸山邦雄顕彰事業	概ね順調	市民学習支援課

No	重点施策名	事業名	評価	担当課
27	芸術文化の振興	芸術文化振興事業	概ね順調	文化交流課
28		企画展開催事業	概ね順調	文化交流課
29	スポーツやレクリエーションの振興	スポーツ振興事業	概ね順調	スポーツ推進室
30		ジュニアスポーツ振興事業	概ね順調	スポーツ推進室
31		スポーツツーリズム推進事業	概ね順調	スポーツ推進室
32		第70回全国高等学校総合スキー体育大会開催事業	概ね順調	インターハイ室
33	スポーツ関連施設の維持・充実・強化	体育施設整備事業	概ね順調	スポーツ推進室
34	人権意識の向上	人権同和教育推進事業	概ね順調	人権政策課
35	男女共同参画社会づくりの推進	男女共同参画推進事業	概ね順調	人権政策課
36	子育て支援の推進	児童手当給付事業	順 調	子ども育成課
37		児童扶養手当等等給付事業	順 調	子ども育成課
38		延長保育委託事業	順 調	子ども育成課
39		通園バス運行事業	概ね順調	子ども育成課
40		児童クラブ等運営事業	概ね順調	子ども育成課
41		幼稚園就園奨励事業	要検討	子ども育成課
42		幼児教育無償化事業	順 調	子ども育成課
43		児童福祉施設整備事業	概ね順調	子ども育成課
44		新 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	順 調	子ども育成課
45		新 ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業	順 調	子ども育成課
46	地域で支える子育て環境整備の推進	飯山市子ども館等運営事業	順 調	子ども育成課

事業名・担当課	No. 1	学力向上総合対策事業	子ども育成課
事業概要	市と校長会が連携し飯山市学力向上事業（第5次学力向上事業（2018～22）の3年次）の取組みを継続的に推進し、小中高連携による学力向上の取組、研修会等を実施、市費加配の学力向上支援員を小中学校に配置。		
取組内容及び成果	・学力向上支援員の配置：秋津・泉台・常盤・飯山・東・木島小：各1名、城南・城北中：各2名、計10名 - きめ細かな少人数指導及びTT指導が実現できた。 ・授業改善指導を信州大学教育学部教授へ依頼し、指導を実施。 ・小中高の校種間連携、連携担当教員の配置により、12年間を見通す効果的なカリキュラム研究を推進し、校種を超えたTTの実践やこれまでのつまづき調査や学習意識調査に基づく教材研究と指導方法により、学力向上のための授業改善がはかられた。 （7/11 中高交流学力向上研究発表会（城北中・飯山高）コロナにより中止） ・学力向上夏期研修会（7/29 飯山小）コロナにより中止 ・全国学力標準テストと意識調査（4月・12月） - 小学生2教科、中学生5教科、学習意識調査を全児童生徒を対象に実施し、個人や学級ごとの学力分析を行い、授業改善や指導に活用。		
決算額	19,873 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	数学・英語を中心に学力標準テストの結果分析を効果的に活用するとともに、中高連携、信州大学の指導、新学習指導要領実施にむけた職員研修を充実させ、教師力・授業力の向上を図りたい。		

事業名・担当課	No. 2	中学校国際交流事業	子ども育成課
事業概要	平成13年から中国深圳外国語学校と第一中学校そして飯山市教育委員会が交流を継続。また平成26年に豪州バサーストハイキャンパス校と姉妹校協定を締結し、市内中学校との交流を通し生徒の視野を広げ、国際化社会に対応できる人材育成を目指す。両校と相互に訪問、ホームステイや授業参加などで交流を行う。		
取組内容及び成果	・7月に予定した深圳の生徒受入は相手都合により取りやめ。 ・飯山市から深圳への派遣は新型コロナウイルス感染症の影響により取りやめ。 ・事務局と今後の対応について打合せを行う。		
決算額	0 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により事業の実施が見送りとなった。今後はオンライン等、新しい形の交流も検討したい。		

事業名・担当課	No. 3	英語教育推進事業	子ども育成課	
事業概要	英語教育の充実、児童生徒の英語力向上のため、英語指導主事の雇用、小中学校の英語指導助手（ALT）配置、中学校の英検受験補助事業、GTEC（スコア型4技能テスト）実施事業を行った。			
取組内容及び成果	・小学校に4名、中学校に2名のALTを配置し、小学校3～6年のすべての外国語科・外国語活動の時間にALTが係わり、新学習指導要領の小学校英語を開始することができた。 ・外国語教育強化のため、英語指導主事1名を雇用し、中学校英語科と小学校外国語科・外国語活動についての教職員への授業指導、ALTとの連携などの取組を実施。学校の授業づくりと振り返り指導を継続的に行い、効果的な授業改善が図られた。 ・中学生の英検受験料補助は4年目、75名に155千円を補助した（R1年度実績は49名）。 ・全中学3年生を対象にGTEC（スコア型4技能テスト）を実施。			
決算額	24,017 千円		評価	順調
今後の取組・課題等	ALTおよび小学校教員の英語授業指導力の向上が望まれる。英検補助は令和3年度の実施を最終とし、GTECへ移行する。 飯山市の子どもたちが生きた英語に触れ、確かな英語力を獲得できるよう取組を継続する。			

事業名・担当課	No. 4	教師用教科書指導書購入事業		子ども育成課
事業概要	令和2年度（小学校）、3年度（中学校）からの新たな教科書の使用開始に向け、教師用指導書及び教科書を購入し、新学習指導要領に沿った教育活動の実践と指導力向上を推進する。			
取組内容及び成果	・令和2年度は中学校用の指導書等を購入。各校の意向と予算額の調整を行って、一括購入した。			
決算額	7,400 千円	評 価	概ね順調	
今後の取組・課題等	今後、デジタル教材へのニーズは一層高まるため、予算との兼ね合いも含め、課題である。			

事業名・担当課	No. 5	小学校施設整備事業	子ども育成課
事業概要	小学校施設の老朽箇所の修繕を行い備品等を整備した。		
取組内容及び成果	木島小学校電話設備更新工事 693千円 飯山小学校FF式石油暖房機器更新工事 523千円 泉台小学校給食調理室食器洗浄機更新工事 2,288千円 戸狩小学校プール浄化装置ポンプ取替工事 880千円 小学校デジタル印刷機更新 588千円 常盤小学校ステージ校章幕更新 187千円 他 小学校7校の小破修繕、備品整備、消耗品購入等を実施		
決算額	10,649 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	老朽化による修繕要望は多数あり、すべてに対応することは難しい。小学校の統合、長寿命化計画を通して計画的に進める必要がある。		

事業名・担当課	No. 6	心の教室相談員設置事業	子ども育成課
事業概要	城南・城北中の各学校に生徒からの相談を受ける「心の教室」を設置し、相談員（2名）を雇用。		
取組内容及び成果	心の教室相談員は思春期の悩みや迷いの中にある中学生に対し、声掛けや相談活動を行うことを通じ、心配を取り除くとともに不登校の早期発見・早期対応に努めている。これにより県や国に比較し当市の不登校生徒在籍率は低く推移しているが、中学校の不登校生は増加傾向が続いている。 また、心の教室は登校はできるものの教室に入れない生徒の居場所にもなっており、教室での学習に向けた足がかりの場としても有効に機能している。 不登校生徒在籍率H24年4.41%(県3.79・国3.42)⇒H29年2.24%(県4.54・国4.31)⇒H30年2.90%(県3.84・国3.65)⇒R1年5.43%⇒R2年4.60%		
決算額	3,045 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	「心の相談員」「不登校対策支援員」「中間教室指導員」等のそれぞれの役割と連携を明確化しながら、当市ならではの「不登校防止、早期対応」の有効な体制やシステム構築、学校外機関との連携についても検討していく必要がある。		

事業名・担当課	No. 7 特別支援教育支援員配置事業	子ども育成課	
事業概要	日常生活や学習に支援や配慮が必要な児童生徒に対応する支援教員及び介助員を小中学校に配置する。		
取組内容及び成果	教育現場の状況に応じて、支援員（市費非常勤職員）を配置。 インクルーシブ教育の浸透により、特別な支援が必要な児童生徒が通常学級で学習・活動する場面が増加、発達障がいを抱える児童生徒の増加傾向もあり、市費の支援教員や介助員を各校に配置した。元年度は外国籍児童への日本語指導支援員1名（2学期から）を含め、計8名が個々の児童生徒の特性に応じた指導や支援にあたった。 配置人員：秋津(1)・飯山(2)・泉台(1)・常盤(1)・戸狩(1)・木島(1)・城南(3)・城北(2) 計 12名		
決算額	12,217 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	インクルーシブ教育、障がいのある児童生徒への合理的配慮等を備えた特別支援教育の実現のためには、地域ぐるみの支援体制の構築が望まれる。飯山小学校の通級指導教室（県費）や飯山養護学校との連携を推進するとともに、障がいのある子どもや保護者の多様なニーズに応えるためにも支援員や介助員の配置は今後も必要である。		

事業名・担当課	No. 8	小中学校図書館図書整備事業	子ども育成課	
事業概要	学校へ予算配当し、小中学校の図書館図書の充実を図る。			
取組内容及び成果	学校図書館図書標準に基づき、学校へ予算を配当し児童生徒用の図書を購入した。平成28年度に導入した学校図書館用システムを活かしつつ学校図書館司書(嘱託・兼務有)による、図書室の魅力アップも図られている。 小中学校の年間ひとりあたり図書貸出冊数 小学校 106 (前年比+15) 中学校 26 (前年比△7)			
決算額	4,000 千円	評 価	順調	
今後の取組・課題等	計画的に各学校で図書を購入し、古い図書の廃棄や整理もあわせて進め、利用したくなる図書館づくりが必要。			

事業名・担当課	No. 9	平和学習事業	子ども育成課
事業概要	満蒙開拓団の授業（中学3年生）等、平和の大切さについて中学生が学習した。		
取組内容及び成果	・平成28年度から中学3年社会科歴史的分野において、「第二次世界大戦と満蒙開拓団」の単元名でカリキュラムを作成し授業を実施。満蒙開拓平和記念館の三沢亜紀事務局長の講演会を両中学校で実施（7/12）。 ・今年度は新型コロナウイルス感染拡大により8月6日、広島での平和祈念式典に参加することはできなかった。		
決算額	60 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	満州引揚にかかわる丸山邦雄氏の業績等、副読本の作成を行い授業に取り込むなど、生徒が主体的に関わる飯山らしい平和学習をさらに工夫していく必要がある。		

事業名・担当課	No. 10	不登校児童生徒支援事業	子ども育成課
事業概要	長期の不登校生及びその家庭への支援・指導を行うため、両中学校へ不登校対策支援員（2名）を雇用した。		
取組内容及び成果	支援員は、長期欠席や引きこもり傾向にある不登校生徒に対して、自宅と学校間の登下校支援や家庭訪問を行うことにより、対象生徒及び保護者との信頼関係を築きながら、登校意欲を喚起。各種相談や学習支援、進路実現に向けた相談活動等を実施し、中3生の進路決定にも貢献。ただし、全体の不登校生数は増加。 不登校対策委員会 7/16、3/4 中学校不登校者数 30名 (H24)⇒12名 (H25)⇒11名 (H26)⇒6名 (H27)⇒6名 (H28)⇒11名 (H29)⇒16名 (H30)⇒29名 (R1)⇒24名 (R2) 小学校不登校者数 1名 (H24)⇒0名 (H25)⇒3名 (H26)⇒4名 (H27)⇒8名 (H28)⇒6名 (H29)⇒5名 (H30)⇒8名 (R1)⇒8名 (R2)		
決算額	2,586 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	長期不登校生だけでなく不登校傾向の児童生徒が増加しており、その原因の見極めと適切な支援が必要。小学校も含め、校外も含めた多様な人材がかかわる支援チーム体制も検討したい。		

事業名・担当課	No. 11	小学校施設リニューアル整備事業（R元繰越）	子ども育成課
事業概要	国の交付金等を活用し、設置後一定年数が経過した小学校のリニューアル工事を実施した。		
取組内容及び成果	令和元年度の国の補正予算により採択されたりニューアル事業を令和２年度に繰越して施工。 木島小学校トイレ改修設計監理委託 2,200千円 木島小学校トイレ改修工事 39,600千円 懸案の木島小トイレ改修が完了し、児童・教職員に大変喜ばれ、教育環境が向上した。		
決算額	41,800 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	小学校のトイレ改修がすべて終了した。 市内小学校はいずれも建築後30～40年が経過しており、今後の施設管理は高コスト化が予想される。長寿命化計画を策定するとともに、学校統合の方向性も踏まえ、国の交付金等を使いながら計画的に大規模改修を行い、教育環境の向上を図る必要がある。		

事業名・担当課	No. 12	中学校施設整備事業	子ども育成課
事業概要	中学校２校における老朽箇所の雨漏り修繕工事、特別教室へのエアコン設置、委託及び備品整備を行った。		
取組内容及び成果	城南中学校体育館屋根改修設計委託 1,320千円 城南中学校体育館屋根改修工事 49,742千円 城北中学校渡り廊下屋根改修工事 633千円 城南中学校特別教室空調増設工事 11,000千円 城北中学校特別教室空調増設工事 12,320千円 城南中学校避難所機能強化工事 8,162千円 災害用仮設トイレ購入 1,815千円 他、中学校２校における、営繕に関わる修繕費、備品費 等		
決算額	64,866 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	老朽化による修繕要望は多数あり、すべてに対応することは難しい。一部特別教室へのエアコン設置が実現し、学習環境が向上し、生徒および職員の健康管理にも大きな成果があった。長寿命化計画に従い計画的な施設修繕が必要。		

事業名・担当課	No. 13	小中学校 I C T 教育推進事業	子ども育成課
事業概要	国が進めるGIGAスクール構想の実現のため、児童生徒1人に1台の器機を整備。学校のICT活用研究委員会とも連携し、更なる I C T 教育推進に向け取り組みを進めている。		
取組内容及び成果	・2年度は国のG I G A スクール事業の前倒し実施にともない、市内小中学校児童生徒全員が1台ずつタブレット端末を使用できるよう1161台の端末を新規に配備した。 ・1人1台の端末配備に伴い、I C T 支援員を配置し、教員の研修と、児童生徒向けに授業支援を実施した。 ・令和2年3月の新型コロナ対策臨時休校時から、ICTを活用した遠隔授業などについて、ICT活用委員会で研究。 小中学校学習者用タブレットPC購入（小中学校1161台）60,925千円 校務用PC購入（小中学校40台）4,576千円 小中学校 I C T 支援委託 2,599千円 （I C T 支援員2名に教員向け研修及び児童生徒への基本操作等授業実施の委託）		
決算額	96,687 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	予定の機器整備には至らなかったが、GIGAスクール構想により、2年度以降小中学校のICT環境は飛躍的に向上する。今後整備される機器とソフトを教育現場で有効に活用していくことが課題。		

事業名・担当課	No. 14	学校教育事務局費	子ども育成課
事業概要	教育委員会事務局の基本的な事務執行に伴う事業費だが、2年度は岳北地域高校の魅力づくり研究協議会の事務局業務を実施。		
取組内容及び成果	・岳北地域高校の魅力づくり研究協議会（7月～2月） 元年度、岳北地域の高校の将来像を考える地域協議会で県教委へ提言を行い、引続き新たな地域組織で魅力づくりについて研究し、県県教育長へ要望書を提出。 ・学校保健事業 学校医業務委託 3,220千円 児童・生徒・教職員各種健診 3,722千円		
決算額	11,065 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	学校・保育園の適正規模適正配置については、元年度に答申を受けて教育委員会としての基本計画を令和2年度に策定。 岳北地域高校の高校については、今後、飯山高校・下高井農林高校び魅力づくりのための施策等について、研究・支援する。		

事業名・担当課	No. 15	小中学校感染症対策・学習保障支援事業		子ども育成課	
事業概要	新型コロナウイルスによる学校再開に伴い、感染症対策や学習保障、また学校教育活動継続のための支援。				
取組内容及び成果	各小中学校毎に必要なタブレット、自動水栓、網戸等を整備した。 (国庫補助1/2、地方創生臨時交付金1/2) 小学校 12,867千円 タブレットパソコン 41台 (教職員用) 中学校 4,557千円 タブレットパソコン 39台 (教職員用)				
決算額	17,424 千円		評価	順調	
今後の取組・課題等	今年度だけの支援のため、今後も新型コロナウイルスによる支出があった場合の対応の検討。				

事業名・担当課	No. 16	冬期学校スポーツ振興事業	子ども育成課
事業概要	飯山市の特徴的なスポーツであるスキーの振興を図るため、小学校2回、中学校1回のアルペンスキー教室を実施した。		
取組内容及び成果	小中学校で実施するアルペンスキー教室について、スキー学校への指導員委託や教職員・保護者のリフト料金、バス借上げ料を公費負担し、保護者負担軽減を図った。 スキー指導員委託料（小2回・中1回）1,630千円 リフト使用料（保護者、教職員）・バス借上げ料（2回目）等 1,054千円 飯山ならではのスキー教室を通じ、雪に親しみ雪の飯山の価値を実感できる教育が実践できたが、寡雪により回数減や対象学年を限定する学校もあった。		
決算額	2,684 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	ふるさと教育の一環として、クロスカントリースキー同様、引き続きスキーの普及に努めたい。		

事業名・担当課	No. 17	総合教育推進事業	子ども育成課
事業概要	総合的な学習や飯山らしい特色ある教育の推進のための、学校教育へのサポートを実施する。		
取組内容及び成果	・米づくり学習 小中学校で米づくり学習や米づくりを通じた地域との交流を支援。 ・総合的な学習の時間で、各学校が特色ある教育活動を実施。 総合的な学習：小3～中3 1クラス10,000円を交付。 市校長会補助：各校の特色ある活動への交付。 ・全小中学校でコミュニティスクールに取組み（文科省型3校、信州型6校）、地域との連携を模索。 ・ラフティング体験学習（8/25～8/26） ・全小学5年生を対象に、千曲川でのラフティング体験学習を実施。 2年度は3校の小学5年生32名が体験し、ふるさとの川の魅力と自然、などについて学んだ。		
決算額	3,885 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	米づくり学習やコミュニティスクールでは地域との協働のあり方、継続性が課題となる。ラフティング体験や総合学習、飯山らしい教育の推進により、ふるさとを知り、その魅力を感じとることを目指す。		

事業名・担当課	No. 18	中学校部活動支援事業	子ども育成課
事業概要	教職員の働き方改革の一環として、国県の補助を受けて中学校の部活動の外部指導者を部活動指導員として任命する。		
取組内容及び成果	・中学校の部活動顧問の時間外勤務削減策として、市が任命する部活動指導員に顧問にかわって指導いただいた。 ・令和2年度は城南中3名と城北中2名の計5名の指導員を任命し、競技力向上と働き方改革を推進。 ・報酬1,250円/時、年間269時間/人が上限。国県市が3分の1ずつの負担。一部交通費を市単独で支給。 ・卓球、クロスカントリー、陸上部（城南）、剣道、吹奏学部（城北）を任命し、専門的指導を実施。 ・部活動に代わる地域での体制を検討するため、部活動サポート体制検討委員会を設置し、検討を開始。 ・活動時間や補助制度との整合性など、工夫しながら、効果的な制度活用を目指している。		
決算額	1,754 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	他に職を持っている方への依頼のため、人選の難しさや活動時間の確保は課題である。また、教職員の働き方改革への検証や、地域での部活動に代わる体制検討の道筋など、課題は多い。		

事業名・担当課	No. 19	育英資金貸付事業	子ども育成課
事業概要	将来長野県の小中学校の教員を目指す大学生への無利子の奨学金貸付制度のため、育英基金に積み立てを行う。		
取組内容及び成果	平成26年度から教員志望の大学生向けの貸付制度を開始。 令和2年度の貸与対象者は9名、月額4万円を3か月ごとに貸付。基金からの年間貸与額は4,320千円。 令和2年度の償還対象者は8名で5月末の出納閉鎖までに予定の1,152千円が償還された。 令和2年度1名 長野県教職員採用		
決算額	1,007 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	教員を目指す学生に限らず、一般の大学生に対する貸付も検討が必要。		

事業名・担当課	No. 20	飯山雪国大学事業	市民学習支援課
事業概要	講座やセミナーの開催を含めた、公民館の学習活動である雪国大学の運営を行う事業です。		
取組内容及び成果	・夏休み、春休み体験教室 ・女性セミナー ・子育てセミナー・各種講演会 ・各種成人講座等を開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため多くの事業が中止を余儀なくされた。 ・6/13 11/7 丸山邦雄顕彰像除幕式・記念講演 延期 ・9/20 正受老人三百年遠諱記念講演会 延期 ・12/5 スポーツ講演会 スポーツをする人、観る人、支え・育てる人 ・7/5-7 正受庵通学合宿 中止		
決算額	269 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	・市民ニーズの把握と時節の話題を取り込んだ事業に取り組む。 ・感染症拡大を鑑み、拡大防止対策と利用制限、イベントの中止を含めた柔軟な対策を講ずる必要がある。		

事業名・担当課	No. 21	地区館事業	市民学習支援課
事業概要	各地区公民館での地域活性化及び各種講座・講演会の開催を行う事業です。		
取組内容及び成果	地区館独自行事、講座の実施 飯山市公民館との共催事業の実施 敬老会、慰霊法要等他団体との共催事業の実施 各種研修会等への参加 各種サークル活動支援 公民館報の編集、発行 各地区毎に多くの参加者がある。広域に募集できる事業には、地区外の方も多く参加している。		
決算額	993 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	・各地区の特性を活かした講座を開催し、地区以外の方も積極的に参加していただける事業に取り組む。 ・感染症拡大を鑑み、拡大防止対策と利用制限、イベントの中止を含めた柔軟な対策を講ずる必要がある。		

事業名・担当課	No. 22	読書普及事業	市民学習支援課
事業概要	・図書館資料の購入。 ・読書の普及活動の推進。 ・セカンドブック（出生祝い）事業として絵本の贈呈。		
取組内容及び成果	・蔵書数134,983冊（うち笹本文庫12,791冊）前年比3,565冊増。 ・おはなしひろば（29回、延41組90人）、絵本とわらべうたの会（38回、139組280人参加）、ブックスタートの会（3月末時点で94人に渡し済み）、親と子の絵本講座（4回開催、延べ10組参加）、保育園貸出（180冊ずつ年4回入替）、図書館まつり（学びのエリア秋まつり）の開催、講演会講師として司書派遣等。 ・セカンドブック（出生祝い）3月末時点で114人に渡し済み		
決算額	4,644 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	・公共図書館として資料等の堅持。 ・セカンドブック（出生祝い）事業の評価。		

事業名・担当課	No. 23	文化財調査整備事業	市民学習支援課
事業概要	埋蔵文化財・遺跡等の調査や整備を行い、文化財の保護につなげる。		
取組内容及び成果	令和2年度は調査なし		
決算額	0 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	文化財保護法に基づき、適正な調査や整備を行っていく。		

事業名・担当課	No. 24	文化的景観保護推進事業	市民学習支援課
事業概要	国の重要文化的景観に選定された小菅を中心としたエリアについて、地域住民と連携を図りながら、景観の保護及び活用のための整備を進める。		
取組内容及び成果	・重要構成要素である建物修理への補助 令和2年度実績なし ・護摩堂修理工事設計監理業務、護摩堂修理工事への補助 (事業主体：小菅神社) ・9/30-10/2 全国文化的景観地区連絡協議会飯山大会 延期 ・石垣修復・積み直し実践学習会		
決算額	29,848 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	少子高齢化が進む小菅区において、多くの文化遺産を維持していくことは大きな課題である。また、地域住民が、文化財の指定などの規制により暮らしにくくならないよう、地元との連携を図り、地元住民と行政の信頼関係の構築が重要である。平成29年度に策定した「整備計画書」を基に今後の保存と活用に向けた整備を進めていく。		

事業名・担当課	No. 25	ふるさと学習推進事業	市民学習支援課
事業概要	飯山市の郷土に関する歴史、文化、自然などに関する一般展示、学習会企画展などを行い、飯山を学び、また、郷土愛を育む取組を推進する。		
取組内容及び成果	・企画展の開催 7/4-8/30 北信濃の相撲文化 9/19-11/29 最後の高田瞽女-こころのなかの北信濃- 12/5-1/17 新収蔵資料展/冬のわら仕事展 2/13-3/21 城下町ひな街道ひな人形展 ・体験教室(勾玉作り、サンドアート、組紐作り、数珠玉作り 等) ・出張講座、館内学習他		
決算額	718 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	・より魅力ある企画展や学習会などを企画し、市内外の大勢の人に「飯山」を知ってもらおうと同時に、飯山の大切な文化を後世に残していく。 ・感染症拡大を鑑み、拡大防止対策と利用制限、イベントの中止を含めた柔軟な対策を講ずる必要がある。		

事業名・担当課	No. 26	丸山邦雄顕彰事業	市民学習支援課
事業概要	邦人の満州引き上げに尽力した、飯山市富倉出身の丸山邦雄氏の功績をたたえブロンズ像を制作設置する。		
取組内容及び成果	令和元年度中の完成を目指したが、新型コロナウイルス感染拡大により、除幕式実施日が令和3年度に延期になった事に伴い、完成期限を令和2年中とし、繰越明許を行った。 (丸山邦雄顕彰碑制作設置委託業務) ・受注者 藤澤美術鋳金工房・契約額 13,761,000円 (令和元年度支払済額内4,128,000円) ・6/13 11/7 丸山邦雄顕彰像除幕式・記念講演 延期		
決算額	9,633 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等			

事業名・担当課	No. 27	芸術文化振興事業	文化交流課
事業概要	芸術文化を楽しむ風土の醸成や、日常的な活動及び市内外の交流・にぎわい活動を推進する文化交流館の運営、並びに芸術文化団体等が開催する事業の支援（補助）、幼児期から芸術文化に触れる機会を提供する。		
取組内容及び成果	・自主事業の実施 多様なジャンル（落語、エレクトーン、バロック、ピアノ、津軽三味線など8事業）を企画し、市民を中心に幅広い来場者に提供した。質の高い音楽やにぎわい企画などを広範に提供でき、多くの来場者の期待に応える事業ができた。一方で、新型コロナウイルスの感染拡大により5事業を延期・中止とした。 ・芸術文化月間（8団体で事業実施） 芸術文化市民団体が開催する事業に対し支援（補助）した。新型コロナウイルスの感染拡大により中止や縮小を余儀なくされた団体もあった。 ・「ヨシザワコウタコンサート」（会場：文化交流館） 園児たちが普段はなかなか訪れる機会のない公共施設を訪れ、芸術文化体験の入口となった。（園児及び保育士、保護者ほか175名参加）		
決算額	7,130 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	幅広い年齢層が館に気軽に訪れるような多様なジャンルを提供し事業展開を図る。同時に、若者層が芸術文化に触れる機会や活動の場の提供などに取り組んでいく必要がある。		

事業名・担当課	No. 28	企画展開催事業	文化交流課
事業概要	年間に企画展1回、ギャラリー展1～2回を開催し、幅広い美術に触れる機会を提供する。また、企画展作家や郷土の特色を活かしたワークショップなどを開催する。		
取組内容及び成果	○ギャラリー展「伝統の技 工芸作家3人展」会期：8/30～9/6 飯山仏壇の製作に携わる伝統工芸士3名（彫刻・蒔絵・金具）による作品展。一輪挿しなど身近な作品約70点を展示。入館者数：248人 ○ギャラリー展「河野文夫展 在りし日の記憶」会期：9/29～3/31 郷土の美術教育に大きく貢献した教育者・河野文夫（1908～91）作の色彩感覚あふれる油絵37点を展示。入館者数：1,598人 （備考） 当初予定していた特別展「正受老人三百年遠諱記念展」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年度開催に延期となった。		
決算額	134 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	郷土出身の美術家を中心に様々なジャンルの作品を取り上げていく。企画展で取り上げる作家がコロナ禍の影響を大きく受けているため、開催時期などの調整を図りながら計画を立てていく必要がある。		

事業名・担当課	No. 29	スポーツ振興事業	スポーツ推進室
事業概要	市スポーツ協会及びスポーツ関係団体、大会実行委員会等を中心に、誰もが気軽に楽しめるスポーツの環境を整備するため、各種教室や大会の開催、スポーツ選手の育成、強化の支援を行う。		
取組内容及び成果	・各種団体及びスポーツ大会への支援 スポーツ団体の活動を支援することで、市のスポーツの振興が図られている。 ・市民プール運営【31日間、入場者4,133人】 夏場の健康や体力向上、友人、家族などで楽しむ場が提供できた。 ・市駅伝大会【中止】 新型コロナウイルス感染症蔓延のため中止とした。 ・全国スポーツ大会出場選手激励金【個人11、チーム3】 スキーのみならず、毎年多くの種目で全国で活躍する選手も増え、選手に対する期待感とスポーツに対する関心も高まっている。		
決算額	5,521 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	年少人口の減少と高齢人口の増加が進む現状から、年齢期に配慮した事業展開を進めている。		

事業名・担当課	No. 30	ジュニアスポーツ振興事業	スポーツ推進室
事業概要	市内の各種ジュニアスポーツ大会開催の支援とジュニアスキー活動に対する支援を行う。		
取組内容及び成果	・ジュニア陸上大会、ジュニア水泳大会、ジュニアクロスカントリー大会、ジュニア駅伝大会、市民レクリエーションスキー大会、サマージャンプ大会、市民スキーフェスティバル等の運営費支援 ・飯山市ジュニアスキー育成連絡協議会への支援 ・ジュニアスキー専任コーチ、コース整備等委託		
決算額	7,561 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	スキーを軸として、各種スポーツへの参加を幼少期から取り組める環境の整備。 人口減少に伴い、競技人口の減少・指導者の確保が課題。		

事業名・担当課	No. 31	スポーツツーリズム推進事業	スポーツ推進室
事業概要	スポーツ資源と観光産業を融合したツーリズム事業		
取組内容及び成果	・スポーツ大会開催を通じ、多くの市外参加者が飯山市を訪れている。 - 菜の花サイクルロードレース（中止） - 菜の花ゲートボール大会（中止） - 菜の花マレットゴルフ大会（中止） - 北信州ハーフマラソン大会（中止） - シクロクロスミーティング飯山大会 278名参加 - 令和2年度は予定されていた大会のほとんどが新型コロナウイルス感染症の蔓延により中止となった。		
決算額	1,043 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	観光産業に寄与するスポーツ大会として、観光関係者など多くの市民の関心度を上げ、どう巻き込んで運営していくかが課題。		

事業名・担当課	No. 32	第70回全国高等学校総合スキー体育大会開催事業	インターハイ室
事業概要	令和2年度に冬季インターハイを開催するための委員会の開催及び事業計画の推進、並びに地元選手の強化を図る。		
取組内容及び成果	【組織の設置及び事業計画の推進】 ・実行委員会、常任委員会、専門委員会の開催 【大会の開催、選手育成・強化】 ・インターハイ飯山市実行委員会負担金 20,381千円 ・長野県スキー大会週間実行委員会負担金 3,577千円 ・インターハイ強化補助金 1,950千円		
決算額	39,564 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	緊急事態宣言下、無観客での開催となったが、大会では、飯山高校が男女総合優勝、また女子リレーチームも優勝を果たした。		

事業名・担当課	No. 33	体育施設整備事業	スポーツ推進室
事業概要	体育施設の維持修繕や改修により、施設利用者の安全確保と利便性の向上を進める。		
取組内容及び成果	・市民プール照明設置工事 2,475千円 ・市民プールのトイレ洋式化工事 2,418千円 ・市営庭球場照明設備復旧工事 594千円 ・市民体育館給湯ボイラー更新工事 4,180千円 施設の老朽化が進み、修繕が追い付かない状況にあるが、施設利用者のニーズも取り入れた整備に努めている。		
決算額	13,539 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	引き続き老朽化が進み、危険度や不便さのある施設を優先し、整備を進める。 各施設の維持管理指針と長寿命化計画の策定		

事業名・担当課	No. 34	人権同和教育推進事業	人権政策課
事業概要	人権同和教育を推進するための各種事業を実施 市民大会の開催、副読本「あけぼの」の配布、人権講座等の実施		
取組内容及び成果	・第48回差別のない明るい飯山市を築く市民大会では、本大会に合わせて募集した市内小中学校児童生徒の作文、ポスター、標語作品が425作品寄せられ、学校現場での取組みに広がりが見られた。 また、人権作文については、文集にして大会実行委員、市内小中学校等へ配布をし、人権意識の啓発に繋げる取り組みができた。 ・副読本「あけぼの」を市内小中学校へ指導手引と活用手引を含めて配布し、人権教育の推進に努めた。計599冊 ・いいやま人権福祉センターで開催した地域住民交流講座には延べ301名に参加いただき、人権政策及び相談窓口の拠点として当センターの活用と情報発信ができた。		
決算額	753 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	・地区、集落における人権学習会開催等の機会を通じて様々な人権課題について市民への啓発・周知を行っていく。 ・地域住民交流講座については自彊術（健康体操）教室やかご作り教室など人気のある講座が定着してきている。		

事業名・担当課	No. 35	男女共同参画推進事業	人権政策課
事業概要	第4次飯山市男女共同参画計画に基づき、男女共同参画社会づくりを推進するための経費である。 6月には男女共同参画週間に合わせて講演会を開催。 また、随時男女共同参画の意識向上を目的とした講座を開催する。		
取組内容及び成果	・男女共同参画講演会は男女共同参画週間中の6/27に計画したが、コロナウイルス感染症の拡大防止のため9/26に延期したが、感染警戒レベルが下がらなかったため中止となった。 ・10月7日に文化交流館なちゅらで計画した人権同和・企業人権教育講座についてもコロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となった。 ・市報へ第4次男女共同参画計画について要旨を掲載し男女共同参画社会の実現に向けての目標を提示し、市民に男女共同参画社会づくりについて考える機会の提供ができた。 ・地区・集落学習会の開催により男女共同参画に関する市民への啓発ができた。（4地区、5区で実施）		
決算額	83 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	・男女共同参画週間に合わせて開催している講演会については今後も例年どおり開催していく。 ・第4次男女共同参画計画の目標に沿って取り組みを進める。		

事業名・担当課	No. 36	児童手当給付事業	子ども育成課
事業概要	中学３年生までの児童を対象に、国の制度に基づき児童手当の支給を行った。		
取組内容及び成果	・ 手当支給対象延べ児童数 22,272人・月 ・ 支給月額 ０才～３才未満 15,000円 ３才～小学校修了前 10,000円（第3子以降15,000円） - 中学生 10,000円 - 特例給付（一定所得以上） 5,000円		
決算額	248,725千円	評価	順調
今後の取組・課題等	・ 国の制度に基づき引き続き事業を実施し、保護者の経済的支援を行うことにより、児童の健全育成を図る。		

事業名・担当課	No. 37	児童扶養手当等給付事業	子ども育成課
事業概要	18才未満の児童を養育するひとり親に対し、国の制度に基づき児童扶養手当の支給を行った。		
取組内容及び成果	・ 支給対象者 111名、対象児童 167名（R3年3月末現在） ・ 支給月額 - 全額支給 43,160円 - 一部支給 43,150～10,180円（所得に応じ） ・ 手当の支給により、ひとり親世帯の生活の安定を図った。		
決算額	60,275 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	・ 国の制度に基づき引き続き事業を実施し、ひとり親家庭等の児童の福祉向上を図る。 ・ 受給者に対し、児童扶養手当のみでなく各種のひとり親世帯への支援制度等についても周知を図る。		

事業名・担当課	No. 38	延長保育委託事業	子ども育成課
事業概要	保育時間を超える延長保育を実施。 延長保育は市内公立全園及び私立保育園で実施。（事業費はめぐみ保育園への委託料）		
取組内容及び成果	○延長保育時間 ・保育標準時間認定（7：30～18：30）の場合 7:00～7:30（めぐみ保育園のみ）、18:30～19:30（公立は19:00） ・保育短時間認定（8：30～16：30）の場合 7:00～8:30（公立は7:30～）、16:30～19:30（公立は19:00） 臨時的に保育時間の延長が必要となる家庭に対し、延長保育を実施することにより子育て世帯の支援を行った。		
決算額	5,603 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	共働き世帯、ひとり親世帯及び核家族化の進行等により、保育標準認定（11時間保育）が増えており、延長保育も含め対応する保育士の確保が年々困難となっている。		

事業名・担当課	No. 39	通園バス運行事業	子ども育成課
事業概要	保育園の統廃合により、遠距離の保育園に通園が必要となった世帯の支援のため、通園バスを運行。また老朽化した車両を更新。		
取組内容及び成果	○運行概要 ・しろやま保育園（斑尾地区） ・いずみだい保育園（外様地区） ・瑞穂保育園（瑞穂中央地区） ・とがり保育園（北瑞地区） ○瑞穂保育園通園用自動車更新（1台） 3,296,700円		
決算額	12,199 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	今後も引き続き事業を継続し、遠距離通園世帯の負担軽減を図る。 また、通園バスについても計画的に更新を行う。		

事業名・担当課	No. 40	児童クラブ等運営事業	子ども育成課
事業概要	児童に健全な遊び場を与え、健康増進と情操の向上を図るため、児童センター・児童館を設置。また、放課後保護者が不在となる小学生の健全育成を図るため、児童クラブを開設。		
取組内容及び成果	・児童センター1館（戸狩） ・児童館1館（木島） ・児童クラブ 4館（秋津、泉台、瑞穂、常盤） 常盤児童クラブは常盤地区のNPO法人へ委託。それ以外については、飯山市社会福祉協議会へ委託。 放課後留守家庭の児童等が安心して過ごせる場を提供するとともに、児童の健全育成が図られた。 ※4/16～5/8 新型コロナウイルス感染症対策のため、小学校が一斉休校となったため、家庭での見守り困難な児童（1～3年生）について、終日受け入れを行った。		
決算額	34,453 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	今後も引き続き事業を実施し、児童の健全育成を図る。施設については、利用児童の増により施設が手狭となっている。		

事業名・担当課	No. 41	幼稚園就園奨励事業	子ども育成課
事業概要	私立幼稚園の運営を支援することにより、幼児教育を希望する保護者の幼稚園就園の促進を図るため、加配職員等の経費に対し補助を行った。		
取組内容及び成果	・幼稚園運営補助 （500千円） ・発達障害児就園事業補助 （2,308千円）		
決算額	2,808 千円	評価	要検討
今後の取組・課題等	飯山市内唯一の幼稚園であり、今後も引き続き支援を行う。 なお、令和元年10月から、国の制度に基づく幼児教育・保育無償化事業により幼稚園就園奨励費は、令和元年9月末で制度廃止。 また、飯山中央幼稚園は令和3年度から、子ども子育て新制度に基づく幼稚園への移行。そのため、幼稚園と連携を図りつつ、新たな事業による制度の構築に向けた検討が必要。		

事業名・担当課	No. 42	幼児教育無償化事業	子ども育成課
事業概要	令和元年10月1日から、国の制度による幼児教育・保育の無償化が開始され、飯山市においても3歳以上児の保育料、給食費の無償化を行った。		
取組内容及び成果	・私立幼稚園の保育料無償化（満3歳以上） 施設等利用給付 10,677千円（対象児童 44名） ・私立幼稚園、保育園の給食費（副食費）無償化補助 4,075千円（対象児童85名） 月額4,500円／人		
決算額	15,668 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	国の制度に基づく保育料の無償化を行うとともに、無償化対象外とされた給食費（副食費）についても、飯山市独自に無償化を行い保護者負担の軽減を図った。		

事業名・担当課	No. 43	児童福祉施設整備事業	子ども育成課
事業概要	保育所、児童センター、児童館等の施設改修や修繕、備品購入を行った。 また令和3年4月から、あきは保育園がしろやま保育園に統合となることから、しろやま保育園の改修を行った。		
取組内容及び成果	・しろやま保育園改修工事 33,451千円 ・瑞穂保育園園庭樹木伐採 462千円 ・戸狩児童センターエアコン更新 623千円 - 他 保育環境の向上及び施設の適切な維持管理が図られた。		
決算額	42,149 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	全体的に施設の老朽化が進行しているなかで、大規模修繕が必要な施設が増えており、今後の施設整備のあり方等を検討する必要がある。特に増加する保育園の未満児への施設的な対応が課題であり、今後の保育園のあり方（統合）を検討する中で順次整備を図っていく必要がある。		

事業名・担当課	No. 44	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	子ども育成課
事業概要	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する取り組みとして、児童手当受給世帯に対し、国の制度に基づき給付金を支給。		
取組内容及び成果	・対象世帯 1, 254世帯 対象児童 2, 207人 児童1人あたり 10,000円を支給		
決算額	23,513 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	令和2年度限りの事業		

事業名・担当課	No. 45	ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業	子ども育成課
事業概要	新型コロナウイルス感染症に伴い、特に大きな影響を受けているひとり親世帯に対し、国の制度に基づき給付金を支給。		
取組内容及び成果	・支給額 1世帯5万円、第2子以降3万円を加算し支給（7月～） ・対象世帯 令和2年6月分児童扶養手当受給者121件、公的年金受給者11件 家計急変者4件 ※新型コロナウイルス感染症の影響が長引いていることから、上記対象者について12月に給付金の再支給を行った。また、国の制度で対象とならない世帯（6月以降ひとり親となった世帯 6世帯）に対し、市単独で国の制度と同額の給付金を支給した。		
決算額	20,081 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	令和2年度限りの事業		

事業名・担当課	No. 46	飯山市子ども館等運営事業	子ども育成課
事業概要	子育てに関する複合施設である飯山市子ども館「きらら」の運営及び各種子育て支援施策を行った。		
取組内容及び成果	【機能】 児童センター（自由来館）、放課後児童クラブ（飯山小） 子育て支援センター、病後児保育、放課後等デイサービス ※新型コロナウイルス感染症対策のため、子育て支援センターや自由来館児童の一時受け入れ停止や、イベント等の中止・縮小を行った。		
決算額	23,870 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	土日・長期休み中等、魅力あるイベント等を企画し、さらに利用者増を図る（特に飯山小学校以外の児童の利用促進）。また相談機能についても、機能強化を図る。		